# まちのわだい
masaki's town news

▼7月21日
## 3園の子どもたちが海で交流

黒田保育所、白鶴保育所、宗意原保育所の「海遊び交流会」は、北黒田海岸で行われ、3園の子どもたちが、海での遊びを楽しみました。
交流会には各園の5歳児23人が参加しました。海に行くことを心待ちにしていた子どもたちは、砂浜で貝殻を拾ったり、海に入って泳いだりして大はしゃぎ。他園のお友達とふれあいながら、楽しい時間を過ごしていました。

▼7月25日
## 砂浜の生き物を探そう

まさき野々っ子くらぶの自然観察会は、塩屋海岸で行われ、大勢の親子が参加しました。
就園前の子どもたちに、地域の自然にふれてもらおうと季節ごとに開催しているもので、今年2回目。今回は、「砂浜の生き物の会」として、夏の海で自然とふれあいました。子どもたちは、生き物を探しながら、楽しい時間を過ごしていました。

▼8月5日
## にぎやかにまさき町夏祭り前夜祭

まさき町夏祭りの前夜祭「カラオケの夕べ」は、松前総合文化センターで開催され、町内ののど自慢たちが多数参加しました。子どもたちによる和太鼓の演奏でオープニングが飾られ、歌に踊りに演技にと、さまざまなカラオケが披露されました。フィナーレでは出演者全員がステージに上がり、観客とともに「上を向いて歩こう」を大合唱。夏祭り本番の大成功を予感させる宴でした。

▼8月14日・15日
## 大間火流し

有明公園で、大間地区の伝統行事「火流し」が行われました。
14日の朝のうちに麦わらを有明橋のたもとに集め、日が暮れると、子どもたちが川に入り、板にわらをのせて火をつけ下流へ引っ張ります。大間の人は、この川の両岸に集まり、この火を眺めて故人を迎え、翌日には同じようにして故人を送っていました。

▼7月23日
## まちづくり塾生と高校生が自然観察で交流

松前町まちづくり塾は、松山中央高校の生物部と「自然観察会」を楽しみました。松前町の昔の自然を知ってもらおうと企画したもので、塾生4人と部員ら8人が参加しました。参加者はまず、ビオトープエミフルで、昔の松前の自然について学習。その後、湧水池である福徳泉とそこから流れ出る神寄川で水生生物を採取しながら、地域の自然環境を守ることの大切さを学びました。

▼7月31日
## 中川原ひまわり祭り

中川原ひまわり祭りは、ひょこたん池公園周辺で開催され、今年も大勢の人が訪れました。
晴天のもと、ひまわりの写生大会や農産物の販売、ビアガーデン、各種バザーなどのイベントが行われ、真夏の休日を満喫していました。北伊予小4年の尾山幹大くんは「今年で6回目の参加です。いろいろなお店やゲームがあって楽しかったです。ビンゴゲームでは2年連続で当たってうれしかったです」と大喜びでした。

▼8月12日
## 大念仏

お盆の伝統行事の一つ「大念仏」は、神崎の禅正軒で行われました。
夕刻になると、出作、神崎、鶴吉の三地区の人々が集合。参加者は東西に分かれ、大うちわを振るリーダーに続いて、手に持ったうちわを高く振り上げながら、声高らかに念仏を繰り返し唱えました。念仏後は、過ぎる夏を惜しむ虫の声が聞こえ、静かな夜が戻っていました。

▼8月21日
## 自主防災組織と消防団が訓練

万一の水害に備える水防工法訓練は、重信川堤防河川敷で行われ、消防団と自主防災組織がロープワークや積み土のう工法などを練習しました。
自主防災組織が参加するのは今年が初めてのこと。参加した約100人の自主防災組織のメンバーは、消防団員と協力して、雨の中、重い土のうや資材を手際よく処理し、各工法の習得に努めていました。